

2026 年

第 29 回 妙なる畑の会 全国実践者の会 ご案内

ごあいさつ

ようやく空気も澄み渡り、山々が色づいて、収斂^{しゅうれん}、結実^{とき}の季となりました。

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

川口由一さんが亡くなられて 2 年が経過致しました。耕さず、草や虫を敵とせず、肥料農薬を必要としない自然農は、今や混迷の中にある現代社会にあって一筋の希望です。私達は、自らの生命^{いのち}をつなぎ、後世の生命へもつないでいく、永続可能な暮らしの在り方を、さらに様々な立ち位置、あるいは視野から、明らかにしてゆかねばなりません。

令和に入って、世界のあちこちで起こる戦争や食糧危機、気候変動、環境汚染、人口減少、そして病の深刻化、などなど、解決せねばならない課題は山積しています。

今回は、赤目自然農塾の次の年に始まった学びの場、福岡自然農塾にて 14 年ぶり 5 回目の開催となります。自然に囲まれたこの地で、日常から離れ、とらわれを捨て、澄んだ心で、自らのこれからの歩みを一人一人が確かなものにするために、より深き学びになればと願っています。

テーマ



- ・ 人類の歴史から学ぶ、主に文化財を巡る現状に思いを馳せながら
永続可能な社会を私たちはどう実現していくか。
- ・ 人としての本当に大切なもの、生きるに必要なものとは。
- ・ 川口さんがスタートされた自然農の歴史が約 40 年経過した今、
あらたに生じている様々な課題を解決するために。

今春、奈良国立博物館にて「超・国宝一祈りのかがやき」と題する「奈良国立博物館開館 130 年記念特別展」が開催されました。

この国の歴史において、どの時代においても人々の心に宿る祈りは、対象としての、仏像や神像などの彫刻、法具などの工芸品、素晴らしい術^{すべ}と技の品々を作り出してきました。その数多くの宝物たちを一同に観る機会に恵まれ、また、そういう企画展に携わった奈良国立博物館の学芸員の方々の言葉にも出会うことが出来ました。

「—現在、我々のおかれている社会の状況は、今後、文化財保護をかつてないほど危機的な状況に陥らせる恐れがある——。文化財は人の歴史すなわち人の営みの結晶であり、それゆえに、人の手によらなければ存続しえない。それは人が活^いきられる持続可能な社会の実現なくして成し得ない——。」(図録「総論……時代を超えて」より)
人が活^いきられる持続可能な社会の実現——。

このことは、すなわち、自然農に取り組む私達の、最も重要な課題とも重なっています。そのこと故に、私達は田畑に立ち、日々を営み、思考し続けていかなければなりません。

生命の世界が本当はどうなっているのか、この地球という美しい生命の星を、これ以上、傷つけず、損なわないように、未来へ手渡すためには、私達は、どうあればいいのか、今を生きる私達が、そこに答えを出してゆくのは、本当に難しいです。

しかしながら、あえて自然農の世界を学び、生きて来た私達が、各々の立場を超えて、この「妙なる畑の会」で、更なる境地を得て、語り合う意義は大きいと思うのです。

今回は、初めての試みとして、奈良国立博物館で、学芸員をされている三本周作先生をお迎えすることになりました。この今に伝わる日本の文化財を守り、その歴史的な意義や価値を研究し、伝える立場におられることから、「人と自然と文化財—永続可能な社会が問われる今、この時—」と題して、ご講演をいただける機会に恵まれました。自然農と文化財……、一見かけ離れているようで、私達人の営みは、すべからく、繋がっているように思われます。川口さんは晩年、「芸術紀行」と銘打って、毎年芸術の分野にも学びを深めるよう導いて下さいました。

先の展覧会の図録の表紙には、現在、法隆寺の大宝蔵院に安置されています、観音菩薩立像（百済観音）の姿があります。

この御仏像に直にお会いすると、毎回、自ずと手を合わせたくなり、涙がにじんでまいります。なぜなのでしょう。

御仏像を前にするだけで、私の中にある、つたない祈りが純度を増してくる……、心あらわれるのかもしれません。そんな気がしています。

私達人の営みは、愚かさゆえに、今日の様々な現状が、解決不可能にも思えますが、一人一人の祈りが、かがやきを増すことが、言いかえれば、全体の成長へとつながるだろうと思います。以前、「私が変われば世界が変わる」と言った方がおられました。他を問うのではなく、私一人を問うことの大切さ、田畑に立てば、そこも自ずから明らかとなっていくと思います。

川口由一さんが、この福岡自然農塾に自然農という生命の世界のことを伝えるべく、足を運んで下さるようになって、早や33年が経ちました。当時、若い青年だった私達は、老齢期に突入しています。田畑における状況も変化しています。環境の変化も著しいです。

各々の田畑において、以前は、なかった問題も発生しています。この機会に、全国から集うことのできた私達は、そういう日々の悩ましい事情も含めて、解決に向けた知恵を出し合い、明日への一步を踏み出す力となることができれば幸いです。



場所

会場：虹の松原ホテル The Beach（レインボーホール）
佐賀県唐津市東唐津4丁目：tel 0955-73-9111

見学地（オプション）（A）松国学びの場 福岡県糸島市二丈松国
（B）一貴山学びの場・鏡山農園 福岡県糸島市二丈一貴山

日程

【妙なる畑の会 全国実践者の会】 2026年2月21日(土)～22日(日) 定員 150名

◎ 21 日(土)

9:00～10:00 開場・受付
10:00～10:30 はじめの挨拶
10:30～12:30 学習会① 講演と質疑応答

講演 「人と自然と文化財
—永続可能な社会が問われる今、この時—」
講師 三本周作先生（奈良国立博物館 主任研究員）

12:30～14:00 食事（お弁当）・休憩
14:00～16:00 学習会② ディスカッション
発表者 井手裕一
古賀正慎
柴田浩之
鏡山英二
16:00～16:30 休憩
16:30～18:30 学習会③ ディスカッション
18:30～19:30 食事（2F・3Fのレストランに分かれて）
19:30～21:00 交流会

◎ 22 日(日)

7:30～ 8:30 朝食（2F・3Fのレストランにて）
9:00～11:30 学習会④ ディスカッション
11:30～12:00 本会終了（終わりの言葉）
移動の準備
12:00～14:00 見学地へ移動と昼食
田畑の見学（オプション）
見学地（A・B どちらか選択）
A:松国学びの場
（食事：牧のうどんなど）
B:一貴山学びの場／
鏡山農園
（食事：現地で弁当）
14:00～16:00 見学
16:00 各学びの場で解散



【指導者世話役学習会】 2026年2月22日(日)～23日(月) 定員 40名

22日(日) 18:00～19:00 : 食事（2F・レストラン）
19:00～21:30 : 指導者世話役学習会（レインボーホール）
23日(月) 9:00～12:00 : 指導者世話役学習会（レインボーホール）
12:00 : 解散

※ 指導者世話役学習会は、全国で学びの場の世話役をされている方が対象ですが、より深く学びたいという方もどうぞ参加されて下さい。（ただし、定員 40名）

参加申し込み方法

各学びの場と個人に案内をお送りしています。
次の3つの方法で申し込みができます。

①送られてきた申し込み用紙に記入して郵送する。

●送付先 : 〒810-0033 福岡市中央区小笹2丁目8-47 村山 直通
(090-7927-2726)

②申し込み用紙に記入した紙をスキャナー等で読み込んで添付ファイルとしてメールにて送付する。

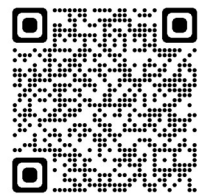
●送付先メールアドレス fuktaehata@gmail.com (平田 祐子)

郵送とメールでの申し込みについての問い合わせ (村山 直通 090-7927-2726)

③「福岡自然農塾」HPのトップページの

「第29回 妙なる畑の会 全国実践者・学習交流会のご案内」
の申し込みフォームから申し込む。

●<https://www.asahi-net.or.jp/~ir2e-kgmy/index.html>



福岡自然農塾ホームページ
妙なる畑の会申し込みフォーム

申し込みフォームに関する問合せ。

fuktaehata@gmail.com (那須きよみ)

鏡山 英二 (090-9793-9963)

◎参加申し込み全体に関する問い合わせ 鏡山 悦子 (092-325-0745)

申し込み締め切り **2025年11月末**

参加費は**2025年12月5日(金)**までに ゆうちょ銀行振り込み口座

「01730-0-40551 福岡自然農塾」に振り込んで下さい。

入金確認を持って参加申し込みの手続きを完了とさせていただきます。

※ 参加申し込みは、定員になり次第、締め切ります。お早めに申し込み下さい。

※ 夫婦で参加される方は、自家用車の情報は、どちらか1人の申し込み覧でお願いします。
(乗車可能な人数を全体で把握したいので。)

※ 前泊(20日(金))を希望される方は、個別に直接ホテルに申し込んで下さい。
前泊の宿泊費は、21日(土)の朝、各自、直接ホテルにて清算して下さい。

※ 唐津市内にはホテルが数か所ありますのでご自由に決めていただいてもかまいません。